

新着図書からおすすめの5冊

毎週火曜日は、新着図書の配架日です。本日5月6日（火曜日）の新着図書の中からおすすめの本を紹介します。インターネット予約・貸出は、5月13日（火曜日）からです。

『哲学とナショナリズム』

中田 光雄／著、水声社／刊、請求記号：134.9/ N,43

内容：ハイデガー哲学は、<現実>といかに切り結んだのか？ ナショナリズムの理念と存在概念の再検討を通して、ハイデガー/ナチズム問題を刷新する。

著者紹介：1939年生まれ。東京大学大学院人文科学研究科博士課程中退。パリ大学大学院哲学博士課程修了。筑波大学名誉教授。仏国学術勲章。著書に「現代を哲学する」など。

『真実を見抜く分析力』

トーマス・H.ダベンポート ほか／著、日経BP社／刊、請求記号：336.1/ D,46

内容：インターネットと技術の発展により、「何でもデータが取れる」今、一般ビジネスパーソンも仕事でデータ分析を使わない手はない。分析手法や分析結果について、専門家と議論できるようにするためのコツを解説する。

著者紹介：米バブソン大学のIT・経営学の教授。マサチューセッツ工科大学のデジタル・ビジネス研究センターのリサーチ・フェロー。

『「つながり格差」が学力格差を生む』

志水 宏吉／著、亜紀書房／刊、請求記号：371.3/ Sh,49

内容：学力格差は貧富の格差ではなく、家庭、地域、学校での、子どもたちの「つながり」格差だった！ 「つながり」という視点から、学力格差の原因を導き出し、これからの日本の教育の進路に欠かせない論点を提示する。

著者紹介：1959年兵庫県生まれ。東京大学大学院教育学研究科博士課程修了(教育学博士)。大阪大学大学院人間科学研究科教授。専攻は学校臨床学、教育社会学。著書に「学校にできること」など。

『浦島太郎の知られざる顔』

桐山 士朗／著、ミネルヴァ書房／刊、請求記号：388/ Ki,54

内容：昔話でおなじみの浦島太郎。彼は実在の人物だったのか？ はたまた何者なのか？ 古事記、日本書紀をはじめとした史料を読み解き、また浦島伝説のルーツを丹念にたどることで浦島太郎とその一族の真相に迫る。

著者紹介：1944年岐阜県生まれ。法政大学社会学部卒業。NPO法人歯科医療情報推進機構理

事。

『『枕草子』の歴史学』

五味 文彦／著、朝日新聞出版／刊、請求記号：914.3/ G,62

内容：時代の制約を受けず、自然の背景に人間を見、人間の営みから自然を感じていた清少納言。「春は曙」はどのような情景を描いたものか？ 道長との関係は？ 「枕草子」を歴史学の手法で読み解く。

著者紹介：1946年山梨県生まれ。東京大学文学部卒。文学博士。専攻は日本中世史。放送大学教授。東京大学名誉教授。著書に「書物の中世史」「西行と清盛」など。

佐賀県立図書館 〒840-0041 佐賀県佐賀市城内二丁目1-41

Tel 0952-24-2900 Fax 0952-25-7049 E-mail saga-kentosyo@pref.saga.lg.jp